



# ビーバンジョア健康肌化粧品 情報

## ビーバンジョアのCSR活動

### 和のこころを語る ～復興への道しるべ～が開催されました

3月14日（火）くまもと県民交流館パレアにて上記シンポジウムが開催されビーバンジョアは参加された約250名の方々に和のマグネットを配布させていただきました。



配布した和のマグネット



### 復興へ笑顔のおすそ分け

#### 和のこころシンポ 紺野さんら鼎談

熊本市中央区のくまもと県民交流館パレアで14日開催されたシンポジウム「和のこころを語る～復興への道しるべ～」（総司会者、法隆寺、KKTくまもと県民テレビ主催）。熊本地震の発生から間もなく1年に至るのを前に、法隆寺（奈良県斑鳩町）の大野玄妙住持らが鼎談などを行い、地震からの復興や熊本本の「和」の精神について語り合った。

大野住持は熊本の紺野玄沙さんと熊本出身の俳人、長谷川健さんが加わった鼎談は、参加者から事前にご寄せられた「家族の絆が強くなった」「家族の絆を披露しながら、話を進めた」といった声も聞かれた。

紺野さんは、東日本大震災の被災地を訪問した際の経験を紹介。「よもやま話のようだが、何もない触れあいが大事なのでは」として、「自分も笑顔でいられ、周りの人々も笑顔になれる。笑顔のおすそ分けをしていきたいと思います」と訴えた。

長谷川さんは熊本本地震発

生誕時のニュース映像に触れ、「大変な被害なのに、被災者の顔にはどこか余裕があった。何がきっかけで、どこにかやっていたか」とうなづいた。

大野住持は、「争いをなくす」として、「和を保つことは水溜りのテーマ。人間は死ぬことよりも生きるためのほうが難しく、生きながらに何をなすべきかを尋ねていく」と語り、

紺野さんは、「和のこころを語る」として、「和を保つことは水溜りのテーマ。人間は死ぬことよりも生きるためのほうが難しく、生きながらに何をなすべきかを尋ねていく」と語り、

大野住持は「和を保つことは水溜りのテーマ。人間は死ぬことよりも生きるためのほうが難しく、生きながらに何をなすべきかを尋ねていく」と語り、



熊本市に義援金500万円贈る 法隆寺住持 大野玄妙住持（右）に西條金の小切手を手渡す大野住持

### 熊本復興 導く和の心

笑顔でいれば周りも笑顔になる

熊本市中央区のくまもと県民交流館パレアで14日開催されたシンポジウム「和のこころを語る～復興への道しるべ～」（総司会者、法隆寺、KKTくまもと県民テレビ主催）。熊本地震の発生から間もなく1年に至るのを前に、法隆寺（奈良県斑鳩町）の大野玄妙住持らが鼎談などを行い、地震からの復興や熊本本の「和」の精神について語り合った。

#### 法隆寺 現地シンポ

熊本市に義援金500万円贈る

熊本市に義援金500万円贈る

熊本市に義援金500万円贈る